

令和4年 11月6日

瀬戸内市議会議長

廣田 均 様

瀬戸内市議会議員 河本 裕志

政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期 間	令和4年 11月 1日 ~ 令和4年 11月 2日
研修会名	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 令和4年度 市町村議会議員研修 「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」
開催場所	全国市町村国際文化研修所
研修目的・内容	<p>目的①：議会改革を進めるにあたり基本的な事項(地方自治の現状、国の法制度の変化、人口減少による地域の変化など)について学ぶ。</p> <p>目的②：議会への住民参加、情報公開に関して、先進事例の紹介を聞き、意見交換等を通じて理解を深める。</p> <p>目的③：ダイアログ(自分の意見を伝え、相手の考えを理解し、互いに協力して解決策を導くためのコミュニケーションの方法)を用いた演習を体験し、会議や議員間討議の進め方を学ぶ。</p> <p>11月1日(火) 研修1日目</p> <p>① 講義 「議会改革度調査」から見る地方議会 講師：早稲田大学 マニフェスト研究所 事務局長 中村 健氏 早稲田大学マニフェスト研究所において実施された「議会改革度調査」から見る先進議会の議会改革事例について、議会基本条例のあり方、作り方、改正や検証方法等も含めて学んだ。</p> <p>② 事例紹介：住民参加・情報公開を進める取組1 演者：徳島県 那賀町議会議員・議会改革特別委員会 委員長 柏木 岳 氏 コーディネーター：早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 中村 健氏 「車座会議」と銘打つリピーターが増える議会意見交換会や、若者の生の声を拾う新成人へのアンケート等住民参加の新たな手法、「情報公開」の発展形である「情報拡散」の考え方とその実例、不信感のレッテルを貼られ</p>



た政務活動費に代わる、頑張る議員に手当てする手法など、目からうろこの議会改革のナマ情報を講義頂き、質疑応答を通して理解を深めた。

③ 事例紹介：住民参加・情報公開を進める取組 2

演者：茨城県 取手市議会事務局次長 岩崎 弘宜 氏、
コーディネーター：早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 中村 健氏
デモテック戦略(デモクラシー×テクノロジー)によるデジタル技術の活用や議事録視覚化システム、市民リライターの試行等、住民参加・情報公開を進める取組について、改革の経緯や現状、取組を始めたことによる効果や今後の展開等について講義を頂き、質疑応答を通して理解を深めた。
360度カメラによる委員会のLIVE配信には驚いた。

11月2日(水) 研修2日目

① 講義・質疑応答：早稲田大学 名誉教授 北川 正恭氏

DX時代における地方議会の展望

地方自治を取り巻く現状を解説いただき、そのなかで議会や議員に求められている役割やあり方について講義。現在全国で進められている議会改革の動向についてもご紹介いただいた。

② 演習：各議会における今後の議会改革推進の検討

演者：早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健

各班グループ別に分かれて、効率的な会議の行い方について学ぶために、「議会広報を考える」をテーマに、ダイアログ(対話)の手法を用いた演習を体験した。

議会の広報を「現状(課題)」「要因」「解決策」「結論」別に討議して、どのように議員間討議を行うか、どのような手法を用いれば会議の成果が挙がるかを学んだ。

所 感

- ・ 議会改革は、議員一人一人の意識改革から始まると実感した。
- ・ ICTを活用し、LIVE配信に字幕を挿入して、聾唖者の方でも分かりやすい議会配信を学び、瀬戸内市の議会でも取り入れたいと思った。
- ・ 360度カメラによる委員会のLIVE配信をされていて、視聴者が見たいところを選択し、ズームアップもできて驚いた。
- ・ 高校生議会や少年議会を開催していて、意見要望が実現した事例を学び、若者の政治への関心を深める良い事例だと思った。
- ・ 議会だよりは議会からの一方的な配信で、他市の事例では、市民からの意見を掲載していたり、市民に議会結果の報告とそれに伴うアンケートをお聞きして掲載するなど、住民参加の双方向の議会だよりを作成していたのが良いと思った。
- ・ 市民の皆さまに議会のことを知って頂くために、頑張ろうと思った。